

# 記憶、現在

東日本大震災を  
もう一度見つめなおしてみませんか？

# そして 未来へ

## 第4回 「虹の翼」

詩の朗読と虹の写真で綴る心清らかなひととき。東日本大震災からまもなく7年、今をはさんだ記憶と未来の両翼に思いをのせて。



【出演】 詩・朗読 水月りの（詩人・俳人） 写真 大沼英樹

※ 大沼英樹さんの写真「虹の贈りもの」を1月30日（火）～2月3日（土）まで「せんだい3.11メモリアル交流館」1階 に展示します。

### 【 お問い合わせ 】

（公財）仙台ひと・まち交流財団  
仙台市青葉区中央市民センター  
〒980-0811  
仙台市青葉区一番町 2-1-4  
電話 022 (223) 2516  
FAX 022 (261) 3251

日時：平成30年2月3日（土）

11:00～12:30

会場：せんだい3.11メモリアル交流館

※ 地下鉄東西線荒井駅構内

対象：どなたでも 直接会場へ

費用：無料

## <ご案内>

### 講座「記憶、現在そして未来へ」は

東日本大震災をそれぞれが見つめ直し、未来に繋げていくことを踏まえ昨年7月から11月まで3回連続で開催した講座です。

- ・第1回 7/15（土）オリエンテーション ～さまざまな視点から見る仙台東部エリア～
- ・第2回 9/2（土） 現地に行ってみよう ～震災遺構仙台市立荒浜小学校の見学～
- ・第3回 11/4（土） 体験してみよう ～「わらアート」のわらシート作り体験

## <プロフィール>



みづき  
水月 りの

仙台市生まれ。本名・平塚陽美（ひらつかはるみ）。宮城県芸術協会会員、小熊座同人。2003年に句集『人魚姫のトッシューズ』で加美俳句スエーデン賞を受賞。2011年には「虹の轍」「死神の涙」で宮城県芸術協会文芸賞を受賞。作詞に「メビウス横町」（作曲・唄：さとう宗幸）、仙台大邱国際交流公演混声合唱組曲「希望の灯火」（2番、4番）など。2003年から、仙台発大人の情報誌「りらく」のポエム&フォトで詩を連載中。詩集に『白い壁の青い窓』（1992年）『光のため息』（1995年ふるんす堂）『恋愛病』（1998年ふるんす堂）などがある。



おおぬま ひでき  
大沼 英樹

1969年山形県天童市のサクランボ農家の次男として生まれる。山形県立村山農業高等学校・林業科を卒業。その後、仙台市の創表現専門学校 est・スタイリスト科を卒業、1991年に写真家の穴戸清孝氏との出会いにより写真の道へ。約7年間の助手を務め独立。毎年全国の桜のある風景を撮影している。個展多数開催。写真集に『お伽噺桜』『それでも咲いていた千年桜』『忘れえぬまた再びの千年桜』『虹の贈りもの』（いずれも窓社）などがある。仙台発大人の情報誌「りらく」のポエム&フォト連載は170回を超える。仙台市在住。2005年宮城県芸術選奨新人賞受賞。

## <せんだい3.11メモリアル交流館のご案内>

せんだい3.11メモリアル交流館は、地下鉄東西線「荒井駅」駅舎内にあります。1Fは、東部沿岸部の立体地図や震災前後の画像、関連図書コーナーなどがあり、気軽に立ち寄れる交流スペースです。2Fには、写真と文章で仙台の復旧・復興の様子が時系列で解かる常設展や、入れ替えのある企画展などがあり、じっくりと観て頂けます。3Fの屋上庭園は、周囲の田園風景が楽しめます。

せんだい3.11メモリアル交流館

〒984-0032

仙台市若林区新井字沓形85-4

地下鉄東西線荒井駅構内

電話 022-390-9022

開館時間：10:00～17:00

休館日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）祝日の翌日（土・日曜日、祝日を除く）年末年始、臨時休館日

